

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【公表番号】特表2016-526771(P2016-526771A)

【公表日】平成28年9月5日(2016.9.5)

【年通号数】公開・登録公報2016-053

【出願番号】特願2016-523652(P2016-523652)

【国際特許分類】

H 01 M	10/0562	(2010.01)
H 01 M	10/052	(2010.01)
H 01 M	10/058	(2010.01)
H 01 B	1/06	(2006.01)
H 01 B	1/08	(2006.01)
H 01 B	13/00	(2006.01)

【F I】

H 01 M	10/0562	
H 01 M	10/052	
H 01 M	10/058	
H 01 B	1/06	A
H 01 B	1/08	
H 01 B	13/00	Z

【誤訛訂正書】

【提出日】平成29年11月9日(2017.11.9)

【誤訛訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0016

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0016】

製造方法においては、前記錯化剤は5規定(N)濃度のアンモニア水が用いられ、前記水溶液のpHが10~11の溶液になるよう前記錯化剤を混合する。例えば、前記出発物質と錯化剤を混合するステップは、前記出発物質を4ml/minの速度で滴定し、同時に前記錯化剤を4ml/minの速度で滴定してもよい。そして、前記沈殿物を形成するステップにおいて、pH調節のためにNaOH溶液を添加して、前記NaOH溶液は1モル濃度で形成され、共沈反応が進行するにつれ、共沈反応器のpH変化によって自動的に滴定されてもよい。

【誤訛訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0026

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0026】

共沈反応器において、約500mlの蒸留水と準備されたNaOHでpHを11レベルに調節し、共沈反応器のインペラ速度を約1000rpmに設定する。共沈反応が始まると、出発物質は約4ml/minの速度で滴定し、同時に錯化剤として準備されたアンモニア水を同一の4ml/minの速度で滴定する。また、共沈反応が進行するにつれ、反応器のpH調節のために上述の準備されたNaOH 1モル溶液を共沈反応器のpH変化によって自動的に滴定されるよう設置する。

**【誤訳訂正 3】**

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1 2】

前記錯化剤を混合するステップは、出発物質を 4 ml / min の速度で滴定し、同時に前記錯化剤を 4 ml / min の速度で滴定する請求項 1 1 に記載のリチウム二次電池用固体電解質の製造方法。

**【誤訳訂正 4】**

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1 3】

前記沈殿物を形成するステップにおいて、pH 調節のために水酸化ナトリウム (NaOH) 溶液を添加して、前記 NaOH 溶液は 1 モル濃度で形成され、共沈反応が進行するにつれ、共沈反応器の pH 变化によって自動的に滴定される請求項 1 1 に記載のリチウム二次電池用固体電解質の製造方法。